

強者の戦略

皆さん、こんにちは。研伸館で現代社会と政治・経済を担当している松木です。この度、強者の戦略のホームページの原稿依頼を受けました。しかしながら、東大、京大には二次試験に公民はありません。だからといって、センター試験の問題を取り上げるのも、このサイトに相応しいものかと……。そこで、二次試験を公民で受験できる大学と考えたところ、一橋大学ということになりました。

さて、一橋大学は倫理・政経で受験ができますが、赤本や他の予備校でも取り上げられているので、わざわざここで扱うのもどうかと思いました。そこで「ビジネス基礎」という試験問題に目がとまりました。赤本以外にも他の予備校が出版している問題集にも模範解答が掲載されていません。「ビジネス基礎」を受験科目として考えている人は、是非このホームページを利用して欲しく思います。

「ビジネス基礎」ですが、過去の出題傾向をみると分かりますが、大問3問から構成されており、各問題とも合計400字以内の論述形式です。

第1問は、説明問題（150字以内）と図の読み取りを踏まえた説明問題（250字以内）、第2問は、説明問題（50字以内）と前問に関連する説明問題（350字以内）、最後の第3問は、自分の考えを述べる問題（400字以内）となっています。

ここでは、第2問の問題を取り上げていきます。ビジネス基礎の受験生はもちろんのこと、政治・経済の受験生も一度考えてみてはいかがでしょうか？意外と書けそうで書けないですよ。

2006年度 第2問

問1 PL法とは何か。説明しなさい。（50字以内）

問2 PL法が制定された時代背景とその今日的な意義について説明しなさい（350字以内）。